

◇ 離婚後に請求すべき按分割合(年金分割)に関する調停・審判を申し立てる方へ ◇

1 手続きの概要

離婚時年金分割制度における年金の按分割合(分割割合)について、当事者間の話し合いがまとまらない場合や話し合いができない場合には、家庭裁判所に対して按分割合を定める調停の申立てをすることができます。ただし、離婚した日の翌日から記載して2年を経過した場合には、この申立てをすることはできません。

なお、離婚調停の申立てに伴って年金分割の割合について話し合いたい場合には、夫婦関係調整調停(離婚)の手続を利用してください。

審判の申立てがあると、裁判官が書面照会等により相手方の意見も聴いた上、按分割合を決定する審判を行います。

調停の申立てがあると、当事者双方を呼び出して調停期日が開かれます。調停期日では、調停委員会が按分割合について話し合うための手続を進めます。

2 申立てできる方

・離婚した元夫

・離婚した元妻

※ 法律に定める一定の場合には、事実上の婚姻関係にあったと認められる方も対象になることがあります。

3 申立先

相手方の住所地(実際に住んでいる住所)の家庭裁判所又は当事者が合意で定める家庭裁判所

4 申立てに当たり提出をお願いするものは、次のとおりです。

審理のために必要な場合は、書類や郵便切手の追加提出をお願いすることがあります。

(申立書提出の際、□のチェック欄を利用し、必要なものが揃っているかどうかご確認ください。)

- 下記の5のに記載の書類
- 年金分割のための情報通知書(離婚日の記載があるもの)原本1通, 写し2通  
・情報通知書の請求手続については、年金事務所、各共済組合又は私学事業団の窓口にお問合せください。
- 年金分割のための情報通知書
- 収入印紙 1,200円分
- 郵便切手 100円×2枚, 82円×8枚, 20円×2枚, 10円×4枚, 5円×2枚(946円分)  
※審判の場合、さらに、500円×4枚, 82円×2枚を追加

5 申立てする方が、記入して提出する書類

1	申立書	・裁判所から、申立書の写しを相手方に送付します。
	記載例	・知られたくない住所等は「連絡先等の届出書」に記載し、申立書には記載しないでください。
2	連絡先等の届出書	・安全の確保等の必要から申し出があった場合には、原則的に非開示(住所等の記載された書面を見せたり、コピーさせたりしないようにすること)とします。
3	事情説明書	・申立てに至った事情などを記載してください。
		・提出した書面は、相手方が見たり(閲覧)、コピー(謄写)をする可能性があります。
4	進行連絡メモ	・調停の進行に関して、参考にするものです。
		・特別な事情がない限り非開示とします。

6 申立てする方に読んでおいてほしい書類

1	裁判所に書面を提出される方へ	・裁判所に書面を提出する場合の注意書です。
2	情報の非開示を求める場合の取扱いについて	・提出する書面に記載されている情報を相手方に対して非開示(見せたり、コピーさせたりしないこと)とすることを求める場合の説明書です。よくお読みください。
		・相手方に知られたくない情報が含まれた書面などを裁判所に提出するかどうかは、ご自身で判断してください。
3	家事調停のしおり	・調停の進行についての説明書です。

## 7. 年金分割の請求手続について

家庭裁判所の審判や調停で按（あん）分割合が定められた場合、実際に年金分割制度を利用するためには、一定の期限内に、当事者のいずれか一方から、年金事務所、各共済組合又は私学事業団のいずれかの窓口において、年金分割の請求手続を行う必要があります（家庭裁判所の審判や調停に基づき自動的に分割されるわけではありませんのでご注意ください）。

## 8. Q & A

Q1. 年金分割には、請求期限があるのですか。

A. 厚生労働大臣等に対する年金分割の請求手続は、原則として、離婚をした日の翌日から起算して2年を経過した場合には、することができないこととされています。したがって、この期限を過ぎた場合には、家庭裁判所に対して審判又は調停の申立てをすることはできません。

Q2. 「年金分割のための情報通知書」は、どこで入手することができるのですか。

A. 年金事務所等の相談窓口（年金事務所のほか、国家公務員共済組合の組合員の方は現在勤務している各省庁の共済組合（退職後は国家公務員共済組合連合会年金相談室）、地方公務員共済組合の組合員の方は現在所属している共済組合又は過去に所属していた共済組合、私立学校教職員共済組合の組合員の方は日本私立学校振興・共済事業団共済事業本部広報相談センター相談室）に請求してください。なお、情報通知書を請求する際、請求書、年金手帳（又は基礎年金番号通知書等）、戸籍謄本などが必要になりますので、詳しくは年金事務所等の相談窓口にお尋ねください。

Q3. 審判が確定（又は調停が成立）したときは、どのような手続が必要ですか。

A. 家庭裁判所の審判や調停で按分割合（分割割合）が定められた場合に、実際に年金分割制度を利用するためには、当事者のいずれか一方から、年金事務所等の窓口（Q2 参照）において、年金分割の請求手続を行う必要があります（家庭裁判所の審判や調停に基づき自動的に分割されるわけではありません）。特に、年金分割の請求には、期限が厳格に定められています（Q1, Q4 参照）ので、この期限を過ぎることがないようにご注意ください。

年金分割の請求にあたっては、審判書謄本及び確定証明書（調停の場合は、調停調書謄本）のほか、戸籍謄本などの提出を求められますので、詳しくは

年金事務所等の相談窓口（Q2 参照）にお尋ねください。

**Q4.** 離婚が成立した日の翌日から起算して 2 年を経過する前に家庭裁判所に審判（又は調停）の申立てをし、審判が確定（又は調停が成立）したのですが、審判が確定（又は調停が成立）する前に 2 年が経過してしまいました。この場合、年金分割の請求をすることはできなくなるのですか。

**A.** この場合には、審判が確定（又は調停が成立）した日の翌日から起算して 1 か月を経過するまで年金分割の請求をすることができます。

なお、審判が確定（又は調停が成立）した日が、離婚が成立した日の翌日から起算して 2 年を経過した日前 1 か月以内である場合にも、審判が確定（又は調停が成立）した日の翌日から起算して 1 か月を経過するまで年金分割の請求をすることができます。

いずれの場合も、この期間を経過すると請求をすることができなくなりますので、注意が必要です。

(別紙様式第19)

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

受付印	家事	<input type="checkbox"/> 調停	<b>申立書 (請求すべき按分割合)</b>
		<input type="checkbox"/> 審判	
(この欄に申立て1件あたり収入印紙1,200円分を貼ってください。)			
収入印紙	円		
予納郵便切手	円	(貼った印紙に押印しないでください。)	

家庭裁判所 御中	申立人 (又は法定代理人など) の記名押印	印
平成 年 月 日		

添付書類 (審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) <input type="checkbox"/> 年金分割のための情報通知書 通 (各年金制度ごとに必要)	準口頭
--	-----

申立人	住所	〒 -	( 方)
	フリガナ氏名		大正昭和 平成 年 月 日生 ( 歳)
相手方	住所	〒 -	( 方)
	フリガナ氏名		大正昭和 平成 年 月 日生 ( 歳)

<b>申 立 て の 趣 旨</b>	
申立人と相手方との間の別紙 (☆)	記載の情報に係る年金分割についての請求すべき按分割合を、( <input type="checkbox"/> 0.5 / <input type="checkbox"/> ( ) ) と定めるとの ( <input type="checkbox"/> 調停 / <input type="checkbox"/> 審判 ) を求めます。

<b>申 立 て の 理 由</b>	
1 申立人と相手方は、共同して婚姻生活を営み夫婦として生活していたが、 ( <input type="checkbox"/> 離婚 / <input type="checkbox"/> 事実婚関係を解消 ) した。	2 申立人と相手方との間の ( <input type="checkbox"/> 離婚成立日 / <input type="checkbox"/> 事実婚関係が解消したと認められる日 )、離婚時年金分割制度に係る第一号改定者及び第二号改定者の別、対象期間及び按分割合の範囲は、別紙のとおりである

(注) 太枠の中だけ記入してください。□の部分は、該当するものにチェックしてください。  
 ☆ 年金分割のための情報通知書の写しをとり、別紙として添付してください (その写しも相手方に送付されます。)

(注) 審判の場合、下記の審判確定証明申請書(太枠の中だけ)に記載をし、収入印紙150円分を貼ってください。

審判確定証明申請書	
<p>(この欄に収入印紙150円分を貼ってください。)</p> <p>(貼った印紙に押印しないでください。)</p>	
<p>本件に係る請求すべき按分割合を定める審判が確定したことを証明してください。</p>	
<p>平成 年 月 日</p>	
<p>申請人 <span style="float: right;">㊟</span></p>	

<p>上記確定証明書を受領した。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>申請人 <span style="float: right;">㊟</span></p>	<p>上記確定証明書を郵送した。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>裁判所書記官 <span style="float: right;">㊟</span></p>
--	---

記入例 離婚後、元妻から元夫に対して年金分割の割合に関する審判を申し立てる場合

申立書を提出する裁判所

作成年月日

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

申立書の写しは相手方に送付されますので、あらかじめご了承ください。

受付印	家事	<input type="checkbox"/> 調停	申立書 (請求すべき按分割合)
		<input checked="" type="checkbox"/> 審判	
(この欄に申立て1件あたり収入印紙1,200円分を貼ってください。)			
印紙			
(貼った印紙に押印しないでください。)			
収入印紙	円		
予納郵便切手	円		

<input type="radio"/> ○ ○ 家庭裁判所 御中 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日	申立人 (又は法定代理人など) の記名押印	甲野花子	印
---	-----------------------------	------	---

添付書類	(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) <input checked="" type="checkbox"/> 年金分割のための情報通知書	準口頭
------	---	-----

申立人	住所	〒 000 - 0000 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 ( 〇〇〇 方)	
	フリガナ氏名	甲野花子	大正昭和平成 〇 年 〇 月 〇 日生 ( 〇〇 歳)
相手方	住所	〒 000 - 0000 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 ( 〇〇アパート 〇〇号室)	
	フリガナ氏名	乙川太郎	大正昭和平成 〇 年 〇 月 〇 日生 ( 〇〇 歳)

裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。ご不明な点があれば、申立書を提出される裁判所にお問い合わせください。

申立書の趣旨	
申立人と相手方との間の別紙 (☆)	記載の情報に係る年金分割についての請求すべき按分割合を: <input checked="" type="checkbox"/> 0.5 / <input type="checkbox"/> ( ) と定めるとの ( <input type="checkbox"/> 調停 / <input checked="" type="checkbox"/> 審判 ) を求めます。

申立書の理由	
1	申立人と相手方は、共同して婚姻生活を営み夫婦として生活していたが、 <input checked="" type="checkbox"/> 離婚 / <input type="checkbox"/> 事実婚関係を解消した。
2	申立人と相手方との間の ( <input checked="" type="checkbox"/> 離婚成立日 / <input type="checkbox"/> 事実婚関係が解消したと認められる日)、離婚時年金分割制度に係る第一号改定者及び第二号改定者の別、対象期間及び按分割合の範囲は、別紙 ( ) のとおりである。

(注) 太枠の中だけ記入してください。□の部分には、該当するものにチェックしてください。  
☆ 年金分割のための情報通知書の写しをとり、別紙として添付してください (その写しも相手方に送付されません)。

情報通知書に記載されている住所を相手方に知られたくない事情がある場合は、その部分を覆い隠してコピーする方法により写しを作成してください。(原本はそのまま提出してください。)  
情報通知書が複数ある場合は、申立書に添付する写しの表面右上に「別紙1」、「別紙2」...と番号を付し、その番号をここに記入してください。

年金分割 (1/1)

按分割合 (分割割合) を上限で定めることを求めるときは、「0.5」を選択してください。それ未満の割合を定めることを求めるときは、「 ( )」を選択し、( ) に具体的な按分割合を記入してください。

(注) 審判の場合、下記の審判確定証明申請書(太枠の中だけ)に記載をし、収入印紙150円分を貼ってください。

審判確定証明申請書	
(この欄に収入印紙150円分を貼ってください。)	
印紙 (貼った印紙に押印しないでください。)	
本件に係る請求すべき按分割合を定める審判が確定したことを証明してください。	
平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日	
申請人 甲野花子 	

上記確定証明書を受領した。	上記確定証明書を郵送した。
平成 年 月 日	平成 年 月 日
申請人 	裁判所書記官 

審判に基づき、年金事務所、各共済組合又は私学事業団において年金分割の請求手続をする場合には、審判書の謄(抄)本のほか、「審判確定証明書」が必要になります。審判の申立てに際して、あらかじめ申請をしておくことにより、審判の確定後に「審判確定証明書」が交付されます。

※ 連絡先等について非開示（住所等の記載された書面を見せたり、コピーさせたりしないようにすること）を希望するときは、下欄の非開示の希望に関する申出書に必要事項を記入してください。（書類の提出に当たっては、「裁判所に書類を提出される方へ（申立人用）」をご覧ください。）

## 連絡先等の届出書（申立人用）

（該当するものにチェックをしてください。）

### 1 書面の送付場所

標記の事件について、書面は次の場所に送付してください。

申立書記載の住所のとおり

下記の場所（A）

場所： \_\_\_\_\_

場所と本人との関係：住所 就業場所（勤務先）

その他 \_\_\_\_\_

### 2 平日昼間の連絡先

携帯電話番号（B）： \_\_\_\_\_

固定電話番号（自宅/勤務先）（C）： \_\_\_\_\_

どちらに連絡があってもよい。

できる限り、携帯電話/固定電話への連絡を希望する。

平成 年 月 日

申立人 氏名： \_\_\_\_\_ 印

※ 以下の欄は、非開示の希望がない場合は記入不要です。

本書面記載内容うち、下欄により非開示とすることを求めたもの（A、B、C）については、原則として開示しない取扱いとなります。  
他の提出書面に非開示の希望を出した住所等を記載しないように注意してください。

## 非開示の希望に関する申出書

安全確保のため、上記届出の（A B C）を、非開示とすることを希望します。

平成 年 月 日

申立人 氏名： \_\_\_\_\_ 印

この書面は、相手方から申請があれば閲覧謄写(見せたり, コピーさせたりすること)される可能性があります。

平成 年(家 )第 号

平成 年 月 日

## 事情説明書

申立人 .....

1 本件申立てに至った事情やいきさつなどを記入してください。

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

2 これまでのいきさつを考えると、調停で対立すると思われることは、どのようなことですか。

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

3 これまでのいきさつを踏まえ、本件について、現在、あなたが考えていることを簡単にお書きください。

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

この書面は、相手方から申請があれば閲覧謄写(見せたり、コピーさせたりすること)される可能性があります。

4 次の事項についてお書きください。

	申 立 人				相 手 方			
職 業 等	職 業 _____ 最 終 学 歴 _____ [ _____ ] <input type="checkbox"/> 卒 業 <input type="checkbox"/> 中 退				職 業 _____ 最 終 学 歴 _____ [ _____ ] <input type="checkbox"/> 卒 業 <input type="checkbox"/> 中 退			
月 収 や 賞 与 (ボ ー ナ ス) な ど ※ 税 込 で 記 入	年 収 約 _____ 万 円 内 訳 月 収 約 _____ 万 円 賞 与 年 _____ 回 ・ 計 _____ 万 [ 月 _____ 万 円, 月 _____ 万 円, そ の 他 _____ 万 円 ]				年 収 約 _____ 万 円 内 訳 月 収 約 _____ 万 円 賞 与 年 _____ 回 ・ 計 _____ 万 [ 月 _____ 万 円, 月 _____ 万 円, そ の 他 _____ 万 円 ]			
そ の 他 の 財 産	<input type="checkbox"/> 土 地 <input type="checkbox"/> 建 物 <input type="checkbox"/> 預 貯 金 約 _____ 万 円 <input type="checkbox"/> 負 債 <input type="checkbox"/> 住 宅 ロ ー ン 約 _____ 万 円 <input type="checkbox"/> そ の 他 約 _____ 万 円 <input type="checkbox"/> そ の 他 [ _____ ]				<input type="checkbox"/> 土 地 <input type="checkbox"/> 建 物 <input type="checkbox"/> 預 貯 金 約 _____ 万 円 <input type="checkbox"/> 負 債 <input type="checkbox"/> 住 宅 ロ ー ン 約 _____ 万 円 <input type="checkbox"/> そ の 他 約 _____ 万 円 <input type="checkbox"/> そ の 他 [ _____ ]			
親 族 や 公 的 機 関 か ら の 援 助 の 有 無	( 具 体 的 に )				( 具 体 的 に )			
住 居 の 状 況	<input type="checkbox"/> 自 宅 <input type="checkbox"/> 実 家 <input type="checkbox"/> 賃 借 [ 家 賃 月 額 _____ 円 ] <input type="checkbox"/> そ の 他 [ _____ ]				<input type="checkbox"/> 自 宅 <input type="checkbox"/> 実 家 <input type="checkbox"/> 賃 借 [ 家 賃 月 額 _____ 円 ] <input type="checkbox"/> そ の 他 [ _____ ]			
現 在 同 居 し て い る 家 族	氏 名	歳	続 柄	職 業 ・ 学 年	氏 名	歳	続 柄	職 業 ・ 学 年

## 進行連絡メモ（申立人）

この書面は、調停を進めるための参考として、裁判所のみが使用します。  
当てはまる事項にチェックまたは○印をし（複数回答可）、空欄には自由に記載して、申立ての際に提出してください。

あなた(申立人)についてお書きします。	<input type="checkbox"/> あなたの職業(勤務先)を教えてください。 職業 _____ 勤務先 _____ 電話番号 ( ) _____ <input type="checkbox"/> どうしても調停期日を <b>避けてほしい日</b> などがありましたらお書きください。 ※ 調停期日は平日のみです。 日にち ( ) (理由: _____) 曜日・時間帯 ※ <b>あなたが避けてほしい曜日・時間帯を○で囲んでください。</b> 理由: _____ <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">月</td> <td colspan="2">火</td> <td colspan="2">水</td> <td colspan="2">木</td> <td colspan="2">金</td> </tr> <tr> <td>午前</td><td>午後</td> <td>午前</td><td>午後</td> <td>午前</td><td>午後</td> <td>午前</td><td>午後</td> <td>午前</td><td>午後</td> </tr> </table>	月		火		水		木		金		午前	午後								
月		火		水		木		金													
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後												
相手方についてお書きします。	<input type="checkbox"/> 相手方の職業(勤務先)が分かりましたらお書きください。 職業 _____ 勤務先 _____ 電話番号 ( ) _____ <input type="checkbox"/> 相手方が調停期日に <b>差し支えのある日</b> などがありましたらお書きください。 ※ 調停期日は平日のみです。 日にち ( ) (理由: _____) 曜日・時間帯 ※ <b>相手方が差し支えのある曜日・時間帯を○で囲んでください。</b> 理由: _____ <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">月</td> <td colspan="2">火</td> <td colspan="2">水</td> <td colspan="2">木</td> <td colspan="2">金</td> </tr> <tr> <td>午前</td><td>午後</td> <td>午前</td><td>午後</td> <td>午前</td><td>午後</td> <td>午前</td><td>午後</td> <td>午前</td><td>午後</td> </tr> </table>	月		火		水		木		金		午前	午後								
月		火		水		木		金													
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後												
調停を進める上で、裁判所への要望があれば書いてください。																					
この申立てをすする前に相手方と話し合ったことがありますか。	<input type="checkbox"/> ある。(そのときの相手方の態度について、チェックをしてください。) <input type="checkbox"/> 感情的で話し合えなかった。 <input type="checkbox"/> 冷静であったが、話し合いはまとまらなかった。 <input type="checkbox"/> 態度がはっきりしなかった。 <input type="checkbox"/> その他( ) _____ <input type="checkbox"/> ない。(その理由について、チェックをしてください。) <input type="checkbox"/> 話し合いに全く応じないから。 <input type="checkbox"/> 話し合っても無駄だと思ったから。 <input type="checkbox"/> その他( ) _____																				
この申立てをすすることを相手方に伝えましたか。	<input type="checkbox"/> 伝えた。(相手方の反応: _____) <input type="checkbox"/> まだ伝えていないが、伝えるつもりである。 <input type="checkbox"/> 伝えるつもりはない。(理由: _____)																				
相手方に暴力の心配がありますか。	<input type="checkbox"/> 暴力の心配はない。 <input type="checkbox"/> 暴力の心配がある。 <div style="background-color: #e0ffe0; padding: 5px;"> <b>以下は、暴力の心配がある方のみ記入してください。</b> </div> 1 これまでに、相手方の暴力で治療を受けたことがありますか。 <input type="checkbox"/> ある。(平成 年 月ころ) <input type="checkbox"/> ない。 (けがの種類 <input type="checkbox"/> 骨折 <input type="checkbox"/> 打撲 <input type="checkbox"/> あざができた <input type="checkbox"/> その他( ) _____) (けがの程度 <input type="checkbox"/> 入院 <input type="checkbox"/> 通院 <input type="checkbox"/> その他( ) _____) 2 配偶者暴力に関する保護命令の申立てをしましたか。 <input type="checkbox"/> はい → 保護命令は出ましたか。      { <input type="checkbox"/> はい (保護命令決定書の謄本のコピーを提出してください) <input type="checkbox"/> いいえ      { <input type="checkbox"/> いいえ 3 相手方が刑事事件を起こしたことがありますか。 <input type="checkbox"/> ある。 <input type="checkbox"/> ない。 (事件の内容 <input type="checkbox"/> 傷害 <input type="checkbox"/> その他( ) _____) 4 調停時の相手方について <input type="checkbox"/> 申立人と顔を合わせなければ暴力を振るうおそれはない。 <input type="checkbox"/> 裁判所職員や第三者がいる場所でも暴力を振るうおそれがある。 <input type="checkbox"/> 裁判所への行き帰りに待ち伏せされるおそれがある。 <input type="checkbox"/> 裁判所に刃物等の凶器を持ってくるおそれがある。 <input type="checkbox"/> 次のものを摂取してくるおそれがある。 ( <input type="checkbox"/> 薬物 <input type="checkbox"/> アルコール <input type="checkbox"/> その他( ) _____)																				
現在治療中の病気があれば、書いてください。	<input type="checkbox"/> 申立人 (病名: _____) <input type="checkbox"/> 相手方 (病名: _____) <input type="checkbox"/> 子ども (名前: _____ 病名: _____)																				
平成 年 月 日 記入者氏名 印																					

## 裁判所に書面を提出される方へ（申立人用）

### 金沢家庭裁判所調停係

裁判所に書面を提出される場合には、以下の点にご留意願います。

#### 1 申立書の写しの送付・提出書面の開示について

(1) 法律の定めにより、あなたが提出された申立書の写しを相手方に送付します。

そのため、申立書は、相手方に読まれることを前提としてお書きください。

※「申立書の写し」は、相手方の人数分提出することとなっています。

(2) 裁判所に提出する書面には、あなたの主張、言い分、意見や希望などをまとめた「主張書面」やあなたの主張や言い分を裏付ける「資料」があります。あなたから提出される「主張書面」や「資料」については、**相手方からの希望があると、相手方にお見せしたり（「閲覧」と言います。）、コピーを認める（「謄写」と言います。）** こともありますので、**ご注意ください。**

※ もし主張書面に、相手方の人格を非難したり、感情的に相手方を攻撃したりするような内容などを書かれると、かえって調停が円滑に進まなくなる可能性があります。

#### 2 提出書面の作成方法について

##### <主張書面>

- (1) A4サイズ（この書面のサイズです。）の用紙を縦に使用してください。
- (2) 綴じしろとして左端より3センチメートル以上あけ、横書きに書いてください。
- (3) 必ず①裁判所名、②事件番号（平成〇〇年（家イ）第〇〇〇号）又は（平成〇〇年（家）第〇〇〇号）、③作成年月日を記載の上、署名押印をしてください。

##### <資料>

資料の現物は、お手元で保管して、それをコピーしたものを提出してください。

相手方に見られたくない部分がある場合



「情報の非開示を求める場合の取扱いについて」をご覧ください。

## 情報の非開示を求める場合の取扱いについて

あなたが、家庭裁判所に提出する書面に記載されている情報を、反対当事者に対して非開示（見せたり、コピーしたりさせないこと）とするよう求める場合は、以下の取扱いによってください。

### A

反対当事者からの暴力等があり、住所及び住所に関連する情報（職業、職場、学校名等）を反対当事者に知らせたくないときはどうすればいいですか。

安全の確保等の必要から申し出があった場合には、住所等を原則的に非開示とします。次の方法によって住居等が相手に知られないようにしてください。

**連絡先等の届出書の提出** → 「連絡先等の届出書」（記載例参照）を用いて住居等を届け出た上、非開示の希望がある場合には、この届出書下欄の非開示の希望に関する申出書に必要事項を記入して提出してください。申立書には秘匿希望の住所等は書かないでください。

**書面の提出** → 主張書面や資料（源泉徴収票、診断書、陳述書等）を提出するときは、住所等の部分をマスキング（紙で隠してコピーする）して消した状態で提出してください。

### B

裁判所に提出する書面（主張書面及び資料）に、上記A以外にも相手には知らせたくない情報が含まれているときはどうすればいいですか。

該当部分が見えないようにマスキング（紙で隠してコピーする）して消した状態で書面を提出してください。

※ この場合、マスキングされた部分は、家庭裁判所にも知らされない（提出されない）ので、家庭裁判所の判断の基礎とはなりません。

### C

反対当事者には見せたくないけれども、家庭裁判所には提出して判断の基礎としてほしい書面があるときはどうすればいいですか。

「非開示の希望に関する申出書」（記載例参照）に、非開示を求める部分と理由を明記し、提出資料をステープラ（ホチキス）で留めて一体化した上で提出してください。また、蛍光ペンでマークしたり、ラインを引いたりして非開示を求める部分を特定してください。

**注意！** あなたが、「非開示の希望に関する申出書」を提出した場合も、反対当事者等から閲覧謄写の請求があったときには、裁判官が認めるべきか否かを判断しますので、請求が認められたときは、非開示を求めた部分についても閲覧謄写されることになります。

平成24年（家イ）第000号

## 非開示の希望に関する申出書

別添書面（**陳述書**）について、下記のとおり非開示とすることを希望します。

平成24年 9月1日

申立人 相手方氏名 兼六花子 **印**

記

非開示を希望する部分及び非開示を希望する理由 ※ 理由は、下のア～オのどれに当たるかと具体的事情を記してください。	
<input type="checkbox"/> 書面の全部	理由（ア，イ，ウ，エ，オ） 事情
<input checked="" type="checkbox"/> 書面の一部（以下の部分）	
1	2ページの1の(2)  理由（ <b>ア</b> ，イ，ウ，エ，オ） 事情 子らが相手方のことを怖れているため、子らの気持ちが相手方に伝わることは避ける必要がある。
2	5ページ10行目（申立人の知人の名前）  理由（ア， <b>イ</b> ，ウ，エ，オ） 事情 相手方は、申立人が当該知人と異性関係があったと思い込んでおり、同人の名前が伝わると迷惑が掛かるおそれがある。
3	  理由（ア，イ，ウ，エ，オ） 事情

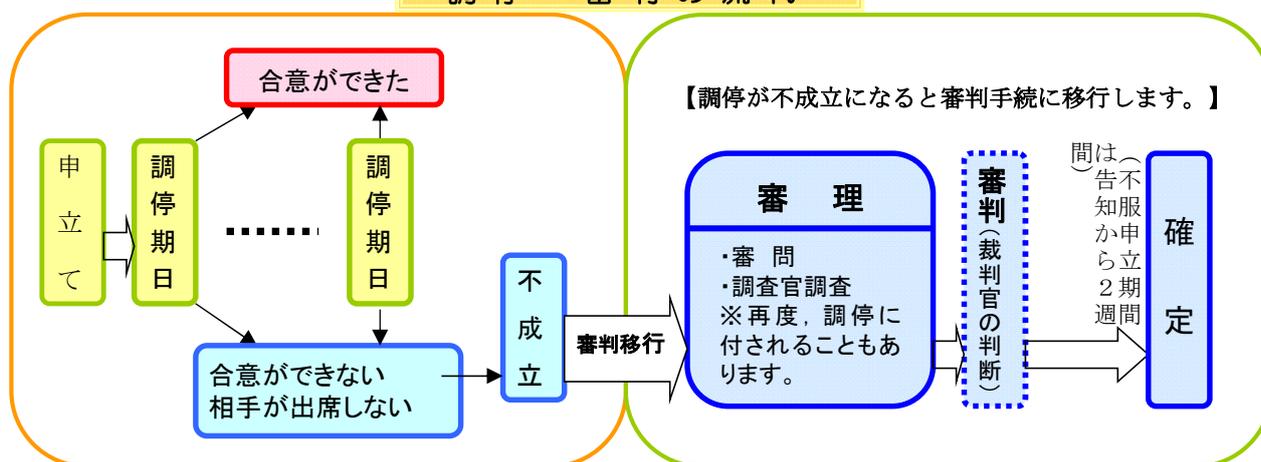
## 非開示を希望する理由

- ア 未成年者の利益を害するおそれがある。
- イ 当事者又は第三者の私生活や業務の平穩を害するおそれがある。
- ウ 当事者又は第三者の私生活についての重大な秘密が明らかにされることにより、社会生活を営むのに著しい支障を生じ、若しくは名誉を著しく害するおそれがある。
- エ 事件の性質、審理の状況、記録の内容等に照らして、閲覧、謄写等を許可することを不適当とする特別の事情がある。
- オ その他

**家庭裁判所の調停(家事調停)とは？**

夫婦、親子、親族などの間のもめ事について、裁判官と調停委員が間に入り、非公開の場で、それぞれから言い分をよく聴きながら、話し合いによって適切で妥当な解決を目指す手続です。公開の法廷で証拠を出し合って争う裁判(訴訟)とは異なります。

- \* 調停は平日で、おおむね1回2時間程度です。
- \* 当日は、調停委員が中立の立場で、それぞれから話をお聞きします。原則として、話は別々にかがいがい、一方の意見を他方に伝える形で交互に進めますが、調停の成立時や期日の終了時等、必要に応じて同席いただく場合もあります。
- \* 調停委員には秘密を守る義務がありますので、調停の内容が外部に漏れることは一切ありません。安心してお話しください。
- \* 調停の結果、話がまとまった場合は調停成立となり、合意ができた内容を記載した調停調書が作成されます。調停調書に記載された内容は、確定した審判と同じ効力を持ちます。  
話がまとまらない場合は調停不成立となり、調停手続は終了しますが、本件については、そのまま審判手続に移り、家庭裁判所が結論を出すこととなります。

**調停・審判の流れ**

(お願い)

- \* 次回調停はだいたい1か月から1か月半ほど先になりますので、1回の調停を有効に使っていただき、**決められた期日には欠席・変更のないようご協力ください。また、調停当日には、1か月から2か月先の予定が分かる手帳などをお持ちください。** あらかじめ家庭裁判所に伝えたい事情がある場合は、電話ではなく、**できるだけ書面に書いて調停期日前に提出してください。**
- \* 書面を提出するときは、「**裁判所に書面を提出される方へ**」をご覧ください。あなたが裁判所に提出された書面は、**反対当事者が閲覧・謄写をする可能性があります。**そのため書面の中に反対当事者に知られたくない部分がある場合の取扱いは、「**情報の非開示を求める場合の取扱いについて**」に書かれていますので、**これをお読みください。**
- \* **調停にお子さんをお連れになることは控えてください。**やむを得ないときは、調停の間、お子さんの面倒をみていただける方を同伴するようお願いいたします。
- \* 調停においては**録音が禁止**されていますので、録音機の持ち込みはご遠慮ください。

**法律相談等を行う公的機関****1 法テラス石川 金沢市丸の内7-36 金沢弁護士会館内**

(資力の乏しい方については、一定の要件のもとに弁護士による無料法律相談や、弁護士費用の立替を受けることができます。) 電話受付時間 平日 午前9時～午後5時

**2 法テラスコールセンター 0570-078374**

(法的なトラブルの解消に役立つ情報の提供及び各相談窓口の案内を無料で行っています。) 受付時間 平日：午前9時～午後9時 土曜：午前9時～午後5時